

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-003)

1 シンガポールとマレーシアは、両国間の緊張状態を緩和するため、港域に関するそれぞれの主張（港域が重複する状況）を一時中断し、以前の港域に戻したうえで、港域を確定する協議を開始することに合意

[原文](#)

(8 April 2019, Channel News Asia)

2 シンガポール海事港湾庁（MPA）と国際航路標識協会（IALA）が初めて共同で e-navigation のワークショップを開催（e-navigation：航海をより安全に、海上通信をより信頼性の高いものに、そして海上事故やそれに伴う環境への影響を軽減することを目的とした IMO 及び関心国の試み）

[原文](#)

(8 April 2019, Sea News)

3 オーストラリアは、去年のパプアニューギニアへの供与に続き 2 隻目となる新しい監視船をツバルに供与。オーストラリア国防相は、今後数年のうちに、太平洋島嶼国 12 か国に 19 隻以上の監視船を供与すると発言

[原文](#)

(10 April 2019, Radio NZ)

4 シンガポール海事港湾庁（MPA）は、990 万シンガポールドルをかけて、次世代の船舶交通管理のためのイノベーションラボ（シンガポールとノルウェー企業が支援した実験設備）を開設

[原文](#)

(10 April 2019, Singapore Business Review)

5 ソロモン諸島の国会議員選挙において、6 つの政党が連立し、次の政府を形成する見通し（選挙結果は未だ判明せず）

[原文](#)

(11 April 2019, Radio NZ)

6 ノルウェーが国連開発計画（UNDP）と協力して、サモアの大規模プロジェクトを支援へ（同プロジェクトを支援する Green Climate Fund(GCF)への拠出を倍増（年間 1 億 US ドル）させることを駐サモアのノルウェー大使が表明）

[原文](#)

(11 April 2019, Samoa Observer)

7 【国連報告書】「太平洋島嶼国への観光客がごみを増大させており、島嶼国の不十分なごみ処理システムに多大な負荷をかけている」と国連環境計画の報告書は指摘

[原文](#)

(11 April 2019, Radio NZ)

8 台湾はパラオに対して、100万 US ドルを支援へ（2018年の経済を活性化させるための支援の一部であり、Our Ocean Conference 2020 への準備等に充てられる予定）

[原文](#)

(12 April 2019, Island Times)

※Island Timesは、時間帯によってアクセスできない場合がございます。その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

9 サモアは、同国が輸入するペットボトル、包装、タイヤ、缶に対してごみ税を導入し、（国民が）返却するリサイクル可能な物品への返金を計画

[原文](#)

(12 April 2019, Radio NZ)

10 台湾海軍 3 隻がパラオを親善訪問する予定（同時期にアメリカ陸軍が、パラオ警察と合同訓練を実施）

[原文](#)

(16 April 2019, Radio NZ)